



美里町
議会だより

きらり

第29号

令和8年5月1日

小さくても キラリと光る 私たちのまち



今年も満開の桜の下、毎年恒例のさくら健康フェスタが開催されました。

第29号メニュー

3月定例会 …P2～P4

委員会活動 …P6～P7

一般質問6名が問う …P8～P12

令和8年3月定例会

定例会は3月2日（月）から6日（金）までの4日間の会期で開催された。

今回提案された町長提出の案件は、条例関係9件、補正関係6件、予算7件その他4件の計26件であった。審議の上、全議案可決した。

一般質問には、6名の議員が登壇し活発な議論が交わされた。

議案番号	件 名	議決結果
議案第12号	美里町特別職報酬等審議会条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第13号	美里町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第14号	美里町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 (賛成多数)
議案第15号	美里町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第16号	美里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第17号	美里町議会議員及び美里町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第18号	美里町ガーデンプレイス・家族旅行村条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第19号	美里町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第20号	美里町長の給料、諸手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第21号～	令和7年度美里町一般会計及び特別会計・公営企業会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第27号～ 議案第33号	令和8年度美里町一般会計予算及び特別会計・公営企業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第34号	町道船津金木線改良工事請負契約の一部変更	原案可決 (全会一致)
議案第35号	美里町過疎地域持続的発展計画の策定	原案可決 (全会一致)
議案第36号	美里町第2次振興計画基本構想の一部変更	同意
議案第37号	熊本県広域行政不服審査会を共同で設置する地方公共団体の数の増加及び熊本広域行政不服審査会共同設置規約の変更	同意
議案第38号	町道土喰大窪線（堂面谷橋）災害復旧工事請負契約の締結	同意

美里町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定（賛成は○・反対は●）

上 田	今 田	福 田	濱 田	坂 田	高 田	隈 部	吉 住	平 野	村 崎
―	○	○	○	●	○	●	○	○	○

条 例

●美里町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

「こども誰でも通園制度」の実施に向け、この事業を行う事業者が遵守すべき子どもの意思や人格を尊重し虐待防止の責任者の設置等の運営の基準を定めるもの。

質 疑

「一般会計当初予算」

○町内小中学校防犯カメラ取付工事（200万）について。

（吉住議員）取り付ける場所や個数は決まっているのか。

（中川学校教育課長）各学校とも1機で、不審者の侵入を防ぐ目的で正門から駐車場に向けて設置する予定である。

○補助金の内訳

（限部議員）畜産振興補助金385万円と農業構造改善関連施設修繕費の600万円の内訳は

（西寺農政課長）繁殖を目的として増頭のため肉用育成雌牛を導入した場合、一農家当たりの年間上

限頭数3頭までで、購入価格（税抜）の18%以内で（上限15万円）を補助

■肉用種牛導入補助

11万円×35頭＝385万円。

○委託料の社会資本整備総合交付金について。

（平野議員）2100万円が、去年は0円だったが内容は。

（富永建設課長）町の舗装補修工事を行うためには、今の舗装状態で修繕をしなければいけないかどうかの計画を作る必要がある。そのような舗装の維持管理計画を5年に1回行うため、その費用を令和8年度で計上した。

○農用地等災害復旧工事（令和7年豪雨災害）について

（平野議員）計上されている4億9498万円は農用地施設の分かと思うが、個人の分担金の提示はいつか。

（西寺農政政策課長）現在発注している実施計画の結果の納品後、分担金の額も併せて通知する。時期は未定。

○土地改良事業補助金（令和7年豪雨災害）について

（平野議員）農用地等災害復旧事業での不採択や取り下げがあった場合に土砂撤去がまだのところを利用してできるのか。

（西寺農政政策課長）堆積土砂撤去・サイコロブロックを継ぐ等を対象としている。補助上限額については40万円、本来は3割の事業費割についても、引き続き8割で対応する。

議会ボランティア

美里町議会では、議員10名でボランティア活動を行った。

今回は、道の駅みさと「佐俣の湯」入口付近の県有地に雑木やツ



伐採作業中



伐採完了

タが絡まり、佐俣の湯を利用される方の目につく場所である。慣れない道具を使い、軽トラ1台分を処分した。



作業前



作業後

令和 8 年度一般会計当初予算

災害復旧復興予算

予算総額は 104億9,000万円!!

※予算全体の内容は「広報みさと」5月号をご覧ください。

3 | 億超(約30%)が令和7年8月豪雨災害関連

主なもの

農用地等災害復旧工事関連	4億9,498万
土地改良事業補助金(R7豪雨災害)	2,200万
林道施設災害復旧工事関連	3億5,760万
公共土木町単独災害復旧工事関連	2,705万
公共土木国庫負担災害復旧工事関連	20億6,071万
被災宅地災害復旧工事(法面復旧)	2,000万
被災宅地復旧支援事業補助金(流出復旧)	1,000万
堅志田城跡災害復旧工事関連	6,720万
災害派遣職員関連(給与・手当・宿舎)	3,685万

財源

国の支出金	18億4,696万
県の支出金	8億2,326万
地方債の起債(借入金)	3億 120万
受益者負担	148万
一般財源(基金繰入を含)	1億3,432万

その他の主な予算

宅地造成工事設計業務委託料 8,000万円

有安地区工場跡地の宅地開発に伴う宅地造成、道路整備調整池整備等の詳細設計の業務委託。

子育て世帯向け賃貸住宅整備アドバイザー業務委託料 935万円

有安地区工場跡地の宅地造成に伴い、子育て世代向けの賃貸住宅を官民連携により整備する計画としており、住宅の整備水準(仕様)や連携先企業を選定するための支援業務委託。

中央北地区拠点施設整備基本構想・基本計画策定業務委託料 2,468万円

有安地区工場跡地の宅地開発に伴い、周辺エリアに地域作りの核となる拠点施設の整備を行うための基本構想・基本計画策定の業務委託。



現在の有安地区工場跡地



中央北地区宅地等開発構想イメージ

学校給食費の無償化

2,286万1千円

子育て支援を目的として、公立小学校の児童の学校給食に必要な食材費について、国が支援する取り組みです。

美里町では令和8年度から中学校まで無償化を行います。

※保護者の皆様に行っていただく手続きはありません。



令和7年度一般会計補正予算

※ 内容は主なものの抜粋。

補正予算（第11号） 9億6,917万円を追加

物価高騰対応関連 2億2,660万円

1人1万円支援給付金、「くらし応援券」、保育所等給食費支援・防災対策、子育て応援手当、ひとり親世帯等生活応援給付金。

国庫支出金 1億9,519万円 地方債の起債 90万円

豪雨災害関連 7億192万円

国庫支出金 6億4,998万円 地方債の起債 1億2,310万円



美里暮らし応援券

補正予算（第12号） 1,139万円を追加

衆議院議員選挙費 1,139万円 全額国庫支出金

補正予算（第13号） 318万円を追加

学校教育課新係執務室新設改修、事務機の購入 118万円

住民記録システム改修(旧姓・フリガナ等の記載) 76万円

国庫支出金 76万円

堂面谷橋災害復旧工事に伴う電柱移転補償費 38万円

国庫支出金 26万円



改修された学校教育課執務室

補正予算（第14号） 10億4,379万円を追加

豪雨災害衛生・清掃費関連 3億669万円

国庫支出金 1億5,103万円

公民館西分館体育館等解体工事関連 4,720万円

地方債の起債(借入金) 4,360万円

公共土木国庫負担災害復旧工事関連 8億8,025万円

国庫支出金 7億2,256万円

文化交流センター災害復旧工事関連 1億330万円

国庫支出金 6,667万円

基金積立金(貯金) 5,396万円

※ 他にマイナスの項目があるため、主なものの合計が総額を超える。



解体撤去された椿公民館



公民館西分館体育館

令和8年度一般会計予算

「総務課」

●令和7年8月豪雨による災害で、芦北町、愛知県稲沢市、宮城県女川町、福岡県北九州市、山口県、愛媛県松山市より職員派遣がある。

「美しい里創生課」

●有安地区工場跡地の宅地開発に伴う宅地造成、道路整備、調整池整備等の詳細設計をする。

●子育て世帯向け賃貸住宅整備アドバイザー業務は、有安地区工場跡地の宅地造成に伴い、子育て世帯向けの賃貸住宅を官民連携により整備する計画で、住宅の整備水準（仕様）や連携先企業を選定される。

●中央北地区拠点施設整備基本構想・基本計画策定業務は、有安地区工場跡地の宅地造成に伴い、周辺エリアに地域づくりの核となる拠点施設を整備を行うための基本構想・基本計画の策定である。

●有安地区工場跡地を宅地開発に方向転換したことに伴い、新たな誘致候補地の選定を行う必要があることから、民有地を含めた適地（簡易）及び美里町に進出が見込める業態等誘致可能性調査を行う。

●買い物支援事業とし、移動販売の車両を町が購入し、事業者へ無償貸与を行うことで、より充実した買い物支援が行な様にする。

「学校教育課」

●スクールバスのラッピングで、瀧下和之氏の鬼のイラストを施し、児童生徒が楽しんで

通学出来る様支援する。また、校外にも使用する機会もあるので、瀧下氏の演出効果や町のアピールにもつながる。2台のスクールバスを予定している。

●町内5校の中学校正門に、防犯カメラを設置し、登下校の子どもたちの見守り、安全確保をされる。

●令和8年度より小中学校の給食費も全額無償化し、保護者の負担軽減を図る。

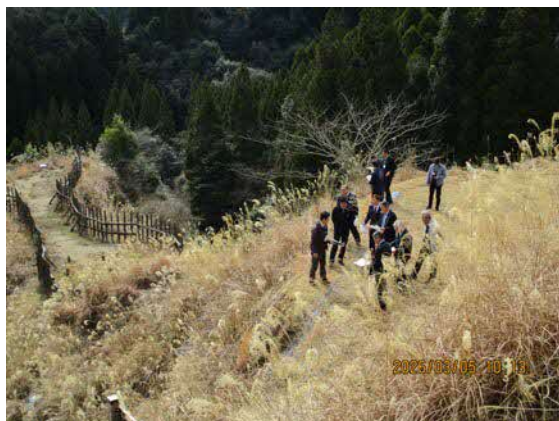
「社会教育課」

●堅志田城跡で令和7年8月豪雨に被災した箇所を、災害復旧の工事をする。国庫補助率は70%である。

現場視察

●「堅志田城跡」

令和7年8月豪雨により崩落した災害場所は、城跡の1郭と2郭の間のところである。平成19年の豪雨でも同様な崩落があり復旧



堅志田城跡

したもの、再び崩落。この為文化庁等との協議で、構造物を用いた工事が認められ、崩落した下流側から道を造り復旧される。

●「励徳小学校」

屋内運動場（体育館）の外壁が、経年劣化で主に南側面が傷んでいる。雨風により傷んだ箇所から水がしみこみ、雨漏りにつながる恐れがある。

校舎屋上は、防水工事をされているが、経年劣化が進み対策が必要である。今回の予算は工事設計で、工事計画が出来次第、防水工事に着手する。



励徳小学校

- 「中央中学校」
- 「文化交流センターひびき」
- 「霊台橋」
- 「有安地区工場跡地」

産業厚生常任委員会

委員長
委員

坂田竜義
今田政行

副委員長
吉住淳一

高田美千子
村崎公一

令和8年度一般会計予算

「福祉課」

- 成年後見センター事業委託料 937万円
- 社会福祉協議会事務局費補助金 4225万円
- eスポーツでいい里づくり事業委託料 443万円
- 老人保護措置費負担金 3345万円
- 障害福祉サービス費等給付費 4億250万円
- 障害児通所支援事業費 4440万円
- 重度心身障害者医療費補助金 1680万円
- 福祉保健センター湯の香苑管理運営委託料 他社協関係の委託料

「こども応援課」

- 出生児祝金 320万円
- 放課後児童健全育成事業委託料 1932万円
- 病児保育事業委託料 2488万円
- 保育所等環境整備事業費補助金 500万円
- 新規事業として 乳児等通園支援事業負担金 95万円

「健康保険課」

- 後期高齢者医療費（委託料655万円、負担金・補助金等益2億700万円）

「上下水道課」

- 生活排水事業会計では 1億2800万円
- 浄化槽管理委託料等
- 簡易水道事業会計では 2289万円
- 水道施設管理委託料等

「農業政策課」

- 農業用機械等導入補助金 765万円
- 鳥獣被害防止緊急捕獲支援事業補助金 1300万円

「森づくり推進課」

- 農業農村整備事業負担金 9446万円
- 土地改良区適正化事業補助金 507万円
- 町単土地改良事業費補助金 700万円
- 農用地等災害復旧工事（R7災害） 4億4980万円
- 土地改良事業補助金（R7災害） 2200万円

「建設課」

- 地域おこし協力隊員報奨金 525万円
- 森林整備事業補助金 500万円
- 美里の山除間伐推進事業補助金 1800万円
- 林道施設災害復旧工事（R7災害） 3億5260万円
- 老朽危険空き家等除却推進補助金 400万円
- 住宅耐震化支援事業補助金 607万円
- 工事請負費（町道） 5500万円
- 工事請負費（通学路対策等） 1億3100万円
- 道路メンテナンス事業委託料 5000万円
- 町営住宅修繕料 550万円
- 災害復旧工事（R7災害） 2000万円
- 国庫負担災害復旧工事 20億円

現場視察



中央北配水場・進捗率40%



上中郡送水ポンプ場・進捗率70%

霊台橋マラソン大会の開催日

教育長 定着に向けた努力も必要



ひらのやすひろ
平野保弘議員



QRコード



今年の霊台橋マラソン大会

○霊台橋マラソン大会の開催日

(問) 大会の開催日がこれまでの1月1日から変更になったが。

(宮崎教育長) 本大会の開催日程につきましては、外部評価委員会及び教育委員会より、元日からの出務に對する役員の負担を考慮し「改善すべき」との方向性を受け、役員負担の軽減と大会継続について検討を行ってきました。

本来であれば1月上旬に開催したいと考えておりましたが、他の町行事との兼ね合いもあり1月25日(日)に変更して実施しました。

今大会の参加者数は108名で、昨年の半数以下という結果になりました。参加者の減少という理由だけでなく、結果の検証や関係団体からの意見聴取とともに、大会の定着に向けた努力も必要ではないかと考えております。今後、大会の運営方法や開催日、周知・情報発信等の検討・充実を図り、参加者の増加につながる努力は必要であると考えております。

○買い物支援



山都町で使われている移動販売車(生鮮品在り)

(問) 令和8年度当初実施予定の「移動販売車」を使った買い物支援について、具体的な運用方法は、

(澤山美しい里創生課長) 具体的な運用といたしましては、介護予防の「ふれあいいきいきサロン」や「通いの場」を実施している公民館等を対象に要望調査を行い、希望のある地域へ移動販売車を派遣します。また、販売事業者の従事者を町が「集落支援員」として委嘱し、対象地域の課題を把握する集落点検や、高齢者の見守り活動も併せて取り組んでいただく計画です。

車両購入については、対象車両のモデルチェンジにより納車が遅れていますが、6月までには納車可能と報告を受けています。

○新たな公共交通

(問) 「のりと美里」実証実験の利用状況は。

(澤山美しい里創生課長) 昨年10月から4か月間の実績について、総乗客数は231名、1日平均の乗客数は約3名。利用登録者数は10月末時点の99名から1月末時点では163名となっています。

登録はしたものの実際の利用には至っていない方が多い点が課題となっています。

その要因といたしましては、第一に本システムはアプリをご利用いただくことでその利便性を最大限に享受いただける仕様となっていますが、現状では電話による予約が主流となっています。

第二に電話予約におきましてコールセンターが県外に設置されていることから、方言による意思疎通の難しさといった課題があるようです。「のりと美里」は、ドア・ツー・ドアの移動や当日配車を可能とした従来と比較して飛躍的に利便性が高くなっていますので、町民の皆様が定着するよう、利用促進に鋭意努めてまいります。

その他の質問

○税制改正による町の財政への影響

規模が大きく特徴的な所の災害復旧の現状は

町長

早急に災害査定を終え一日も早い着工に努力



さかた たつよし
坂田 竜義 議員



QRコード

○新年度町の予算

(問) 新年度予算の重点は何か。

(上田町長) ー災害からの復旧復興
2 上水道の整備、3 子育て支援の充
実及び移住定住の促進。

また住環境の創出に向け旧有安工
場跡地の宅地開発、その周辺の地域
づくり拠点づくりなどである。

(問) 地方財政計画の収支の特徴は
何か。

(坂村総務課長) 歳出面では社会保
険関係費の自然増に加え、人事院勧
告等を踏まえた人件費の増加、さら
には教育無償化に伴う地方負担増な
ど地方団体が直面する現実の行政需
要を的確に見込んでいる。

一方歳入面では、地方税も一定の
伸びを見込み、地方交付税も増額が
図られ、令和7年度を大幅に上回わ
つた。

それを受けた本町の対応は普通交
付税ぶ等を踏まえ前年比3億184
4万円増の37億8690万円となっ
た。

なお物価高対応でー割程度の増額
となっている。

(問) 物価高騰対策、官公需の価格
転嫁対策はどうなっているか。

(坂村総務課長) 国においては、ご
み収集等の業務委託料道路河川等の
維持補修費など自治体の幅広い分野
におけるコスト増に対応するため地
財計画において5850億円の増額
計上。

普通交付税でも1000億円規模
で価格転嫁対策を講じている。

本町においては、前年比10%増で
適正な価格転嫁が図られるよう適切
な契約事務の執行と必要な予算措置
に努めている。

(問) 高校授業料及び小学校給食無
償化の地方負担はどうなるか。

(坂村総務課長) 高校授業料につい
ては、本町に高校は設置していないこ
とから直接的な影響はない。

小学校の給食費については令和8
年度から完全無償化を予定しており
国が全額補助すれば町の財政負担は
生じない。

(問) その他の歳出の特徴は何か。

(坂村総務課長) ①中央北地区にお
いて、企業誘致可能性を調査する費
用560万円、子育て世帯向け賃貸
住宅のアドバイザー業務935万
円。

②第1次美里町観光戦略策定 50
0万円、「美里まちづくり公社」運
営費補助 1200万円
財源は「地域振興基金」。

○豪雨災害の復旧復興計画

(問) 本計画の骨子と計画年度はど
うなっているか。

(上田町長) 基本理念「誇れるふる
さと・みんなで創る未来の美里」
基本目標

- ①住まいと暮らしの生活再建
 - ②社会公共基盤の整備
 - ③地域産業経済の振興
 - ④防災力の強化・災害への備え
- 計画期間――令和7年度～13年度

の7年間
(問) 財政的裏付けはどうなってい
るか。

(坂村総務課長) 令和7年度予算べ
ーすで、公共土木関係で約32億円の事
業費に対し国県支出金約21億円、町
債7億円、一般財源4億円。

農地農道関係事業約11億円に対し、
県支出金約7億円、町債約2億円、
一般財源2億円。

林道等事業日約4億円に対し県支
出金約1.7億円、町債690万円、
一般財源1.9億円、他は自己負担。

令和8年度予算では公共土木約21
億円の事業費、農地農道関係事業費
約6億円、林道関係約6億円で財源
内訳は概ね前年度並み。

2か年合計で76億7000万円で
ある。

(問) 住民の意見の反映はどうす
るか。

(坂村総務課長) ①アンケート調査
を実施(一部損壊以上の世帯94世帯
他計800世帯)

②美里町振興計画及びまちづくり審
議会に諮問し意見を聞く。

計画素案について町ホームページ、
防災無線等で周知を図り現在パブリッ
クコメントを実施している。

その他の質問

- 自治体DXと標準化について
- 地域公共交通「のるーと」の
実証実験の結果について

子どもの居場所づくりの施設を建設するのか。

町長

子ども達が安全に遊べる公園や、住民同士の憩い交流できる広場等の整備を進める。



はまだけんじ
濱田憲治議員



QRコード



※上記図は本構想内容の開発イメージのため、実際の開発時には内容や配置等が変更となる場合があります。

（問）町をPR出来るこどもの居場所づくり（施設）を今後どの様に描いていけるのか。
（上田町長）「中央北地区宅地等開発構想」で、単に住宅地を造成するのではなく、こどもから高齢者まで多世代が交流できる「拠点づくり」を基本方針の一つとしている。
こどもたちが安全に遊べる公園、住民同士が憩い交流できる広場等の整備を目標としている。
こどもたちの笑顔があふれるまちづくりに全力で取り組む。

○子どもの居場所づくり

○農業振興

（問）耕作放棄地の解消を促すため、甲佐町との連携した山椒栽培の取組みは考えていけるのか。

（上田町長）甲佐町は令和3年度、(株)ツムラと山椒の契約栽培を開始。令和5年度より甲佐町、宮内地区山椒生産組合と(株)ツムラの3者で『生産生産による地域農業活性化連携協定』を締結され、(株)ツムラへの本格出荷を開始。

食品や漢方の原料として、山椒が大幅に不足している状況であり、甲佐町のみならず近隣自治体（緑川流域一帯）を含め新規生産者の確保と栽培面積の拡大を図りたいとされている。美里町としては、試験的に栽培を



山椒の木

行い、今後の対応を検討する。

「参考」

- ・苗木代：(株)ツムラと契約栽培にする
と0円
- ・植付時期：12月～3月の落葉時期

その他の質問
○定住促進助成金等の考え方に
ついて



甲佐町宮内地区

- ・販売方法：契約により(株)ツムラが全量買取
- ・収穫時期：夏場の暑い時期（8月上旬）
- ・栽培環境：山裾で水はけのよい傾斜地で、半日陰の農地が適している
- ・収穫までの期間：4～5年

豪雨災害からの早期復旧を！

町長

一刻も早い復旧に努力



いまだまさゆき
今田政行議員



QRコード

○豪雨災害からの復旧状況

画(問) 道路(生活道)の災害復旧計画

(富永建設課長) 令和7年8月豪雨災害に伴う公共土木施設災害については2月6日までに査定が完了し、決定の国庫負担対象額は、道路、河川、橋梁、の合計で407件、75億1199万円と言う結果になった。今回の災害査定は簡素化査定で受けたので、現在発注に向けての実施設計を建設コンサルタント業者に依頼している。

復旧工事を進めるうえで、橋梁や迂回路が無い町道の災害箇所、主要な生活道路から優先的に実施設計の成果を提出して頂くよう依頼している。

そのような箇所から優先順位をつけ、計画的に工事の発注を進めて行く。

画(問) 農地の災害復旧の進捗状況

(西寺農業政策課長) 農地及び農業用施設の災害復旧については、被害箇所も相当数になることから、簡素化査定により査定を受け1月8日に終了した。

査定件数は、農地、農業用施設で758件、1054箇所査定決定額、約30億円である。

激甚指定に伴う補助率の増高申請し農地の補助率77.9%、農業用施設の補助率77.7%となる見込みである。

現在、災害復旧工事として発注するための実施設計の委託契約を締

結したところである。

又、査定結果を申請者に送付し、国の災害復旧工事として申請されるか、町単独の補助事業で復旧されるのか意向調査を実施している。

尚、町単独の補助事業の活用状況については、「農地自力復旧事業」で申請件数170件、箇所数477箇所、申請額約4200万円、農地や農業用施設の復旧を支援する「美里町土地改良事業(災害)」については、申請件数81件、申請額約1400万円の申請状況である。

今後は、実施設計書の成果品が納入され次第、工事設計書を作成し申請者に対し工事及び負担金額の提示を行い判断を頂く予定となっている。全ての工事完了までには、相当な期間を要すると想定している。

画(問) 文化交流センターの復旧計画

(宮寄教育長) 災害復旧については、文部科学省の「公立社教施設災害復旧費補助事業」を活用して行う。

但し本補助事業を活用するためには、国から「特定地方公共団体」の指定を受ける必要があるが有無は3月中旬に判明する。

正規の手順通り、進めれば着工が大幅に遅れることが懸念される。

依って、「事前着工」の承認を得て直ちに復旧工事に入れるよう事務を進めて行く。

その他の質問

- 空き家対策について
- 農業振興について
- 霊台橋の管理について



美里町文化交流センターひびき

町道鳥越線の早期開通を



ふくだひでのり
福田秀憲議員



QRコード

町長

できるだけ早期に完了したい

○太陽光発電設備の設置

(問) 太陽光発電設備の把握はなされているか。
(宮崎住民生活課長) 事業用法人50社、個人38人、家庭用は76件把握している。

(問) 法に基づき国、県などには届出されているが、町でも何らかの規制が必要ではないか。
(上田町長) 景観行政団体への移行も視野に入れ「美里町景観条例」の制定に向けた検討を進める。

(問) 設備の老朽化に伴う廃棄処理をどうするか。
(宮崎住民生活課長) 国の動向を注

○町道鳥越線改良工事

視し県と情報共有して対応する。

(問) 工事を始めて22年になるが進捗状況は
(富永建設課長) 令和7年度まで1230m完成し約18・5億円の事業費となっている。

(問) 残工事の計画はどうなっているか。
(富永建設課長) 残工事は本線11m、支線106mであり早期に完了したい。



国道443号合流点



中間地点



鳥越線長尾野口



開発イメージ図

○宅地開発

(問) まちづくり構想宅地開発計画策定が遅れている。
(澤山美しい里創生課長) 人口動態等により課題の整理を行い4月に公表を予定している。

(問) 人口減少対策のためには住宅開発が必要ではないか。
(上田町長) 定住環境の充実は人口減少対策として不可欠。ハード・ソフト両面からスピード感を持って取り組む。

歴史的遺産の保全と将来の道路戦略



くまべ ひろし
隈部 寛 議員



QRコード

町長

地域資産を守り、未来の道路を考える

〇8月豪雨

(問) 歴史的石橋の保全にどう取り組まれるのか

(宮崎教育長) 昨年8月の豪雨で被災した県指定重要文化財「二俣渡」の復旧を進めるとともに、文化財としての価値を損なわないよう配慮しながら石橋の保全に取り組み。
今後は関係部署や関係団体と協議し、必要な保全整備を検討していく。

(上田町長) 現時点で具体的な計画はありませんが、関係部署や地域の皆様と協議し、可能性や課題を整理しながら今後検討してまいります。

(問) 霊台橋のライトアップの再開は

(澤山美しい里創生課長) 霊台橋のライトアップは現在実施していない。設備の老朽化や豪雨による損傷に加え、照明による車両へのまぶしさなど安全面の課題があるためである。今後は設備更新の費用も踏まえ、再開については慎重に検討していく。



霊台橋の石垣部(作業後)



霊台橋下流右岸の整備(清掃前)



堅志田船津線

〇町道堅志田船津線

(問) 熊本市へつながる道路戦略の考えは

(富永建設課長) 町道堅志田船津線は平成二十年から改良工事を実施し、乙女線分岐点から甲佐町境まで924.9mの道路設備は完了している。町としては当該区間の整備は済んでいるとの認識である。

(問) 将来を見据えた道路整備の考えは

(上田町長) 道路整備の重要性は認識しているが、現時点で道路戦略の研究は行っていない。
現在は国道改良要望や町道整備、豪雨災害復旧など優先課題への対応を進めている。

臨時会

令和8年 第1回 1月9日(金)

条例制定並びに、一般会計補正予算を含む8議案を上程し可決。

「一般会計補正予算」

物価高騰対応LPガス使用世帯支援事業補助金、物価高騰対応重点支援給付金、地域通貨補助金など歳入歳出予算を9億6916万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ126億8152万7千円となった

●物価高騰対応LPガス使用世帯支援事業補助金 1120万円

●物価高騰対応重点支援給付金 8363万円

●物価高対応子育て応援手当 1810万円

●物価高対応子育て応援手当(町独自分) 905万円

●地域通貨補助金

8827万6千円

●農用地等災害復旧費

6億9600万円

●林業施設災害復旧工事(豪雨災害) 400万円

令和8年 第2回 2月4日(水)

専決処分事項並びに、一般会計補正予算を含む3議案を上程し可決。

全員協議会

令和7年 第12回 12月8日(月)

●ランタンフェスティバルの収支報告について

令和7年 第13回 12月17日(水)

●美里町立学校のあり方に関する意見交換

●町づくり公社のあり方について

令和8年 第1回 1月5日(月)

●学校給食保護者説明会報告について

●議場システム改修について

令和8年 第2回 3月2日(月)

●中央北地区簡易水道事業計画について

●宅地開発について

●美里まちづくり公社中期経営計画について

●熊本バス「浜町線」撤退に伴う対応について。

第1回宇城広域連合議会定例会

令和8年3月18日(水)

議案第1

号【宇城広域連合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定】

議案第2号【宇城広域連合職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定】

議案第3号【宇城広域連合火災予防条例の一部を改正する条例の制定】

議案第4号【工事請負契約の締結についての議決の一部変更】

※宇城広域連合南消防署三角分署移転に伴う新庁舎建設の当初請負契約

(税込)4億0250万2100円から、58万7972円を減額し、変更後の請負契約4億0191万4128円とする。

議案第5号【令和7年度宇城広域連合一般会計補正予算(第4号)】

※繰越明許費補正(衛生費:寂静の里外壁改修事業)の追加、地方債補正(追加:起債の目的、寂静の里設

備改修事業費・限度額80万円)、(変更:起債の目的、寂静の里外壁改修事業費、補正前限度額3240万円、補正後の限度額3160万円)である。

議案第6号【令和8年度宇城広域連合一般会計予算】

※歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ38億7781万6千円と定める。令和7年度予算との比較では、歳入歳出予算額49億6152万9千円で、10億8371万3千円の減額である。主な減額は、広域連合債、国庫支出金で、増加は分担金及び負担金である。

議案第7号【令和8年度宇城広域連合宇城ふるさと市町村圏基金特別会計予算】

※歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ453万3千円とする。令和7年度予算との比較では、歳入歳出予算額735万3千円で282万円の減額である。主な減額は、県支出金、県補助金の減額である。(令和7年度末で結婚活動支援事業を廃止したため)

報告第1号【専決処分の報告】

専決第1号:損害賠償額の決定
※宇城市不知火町での公用車事故に係る損害賠償額について

月形町に学ぶまちづくり 健やかな育ちの支援

議会視察研修

北海道月形町

研修日令和7年9月26日（金）

北海道月形町は、札幌から車で1時間。北東に位置する人口2,600人余りの小さな町で、冬は10メートルを超える積雪があるという。役場に隣接する樺戸博物館は、集治監跡で厳しい開拓の歴史を伝えている。

※町の子育て施策のコンセプトは、「健やかな育ちの支援」



集治監跡である月形町樺戸博物館



月形町役場内での研修風景



月形樺戸博物館前で

研修ポイント①

産婦人科・小児科オンライン相談事業

町内の妊産婦、子育て世帯が安心して妊娠出産子育てが出来る事を目的に、令和5年4月から導入。スマートフォンやパソコンを使つて、町外の小児科医・産婦人科医・助産師などに24時間対応でオンライン相談ができる住民サービスである。月形町の環境にとっては必要なサービスと感じた。町の年間の出生数は10名前後で、令和8年に、こども家庭センターを設置予定。

研修ポイント②

学童保育所「学童保育きららクラブ」

保護者が安心して仕事や介護が出来るように、小学生が放課後の一定時間、遊びを中心に集団活動をする（定員／35名）。町の交流センターで実施しており、夏・冬・春休みの他、緊急的な利用にも対応可。放課後児童支援員（会計年度任用職員）のなり手不足が課題。

研修ポイント③

保育園留學

町内に唯一の認定こども園「花の里こども園」で保育園留學というユニークな事業が令和5年から実施されている。都市部（主に首都圏）の0歳から5歳までの子どもが、親と共に、1〜2週間宿泊施設を利用して町に滞在し、自然の中で様々な体験が出来る事業。外国人家庭も受け入れている。関係人口の増大で、ふるさと納税の米の先行予約や定期便など増加している。

その他、子育てに関する様々な経済的支援、移住定住促進の各種補助金や分譲地販売。町内外の人々が出会える「交流の場・つきがたラボ」など多彩な町の取り組みについて学ぶことができた。



2026さくら健康フェスタ・美里
実行委員長：江崎 望
(元気・夢クラブ会長)

今年で13回目の「さくらフェスタ」参加者は607名であった。総合型地域クラブ『元気・夢クラブ』を中心とした実行委員会で開催している。当初は、『元気・夢クラブ』一団体で実施。町の補助金などは考えず、参加者の参加費を主資金とし、企画・立案・実施してきた。

『元気・夢クラブ』の理念は「健康づくりで心豊かなひとづくり・仲間とともに元気な地域(まち)づくり」である。この理念のもと、大会の目的を「気軽に参加できるウォーキングを通じ、健康増進及び体力向上を図り、春満開の美里町で豊かな自然を体験することで、地域(まち)の振興に寄

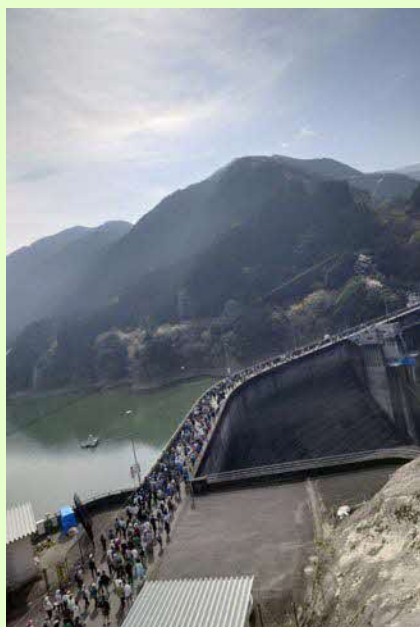
与し、参加者の友好の輪を広げる」ことを目指した大会である。

実行委員会とは別に、地域でのおもてなし「ぜんざい・お茶・漬物類・天ぷらなど」を自主的に取組まれる地域が生まれ、それを目当てで来られる参加者も多く、1000人を超える大会に成長した要因である。

これから、美里町へ人を呼込む大会とし、交流人口、関係人口の創出と「美里(まち)づくりは人づくり。希望ある故郷」を目指し今後も実施したい。

結びに、大会実行委員の各種団体の皆様・協力団体の皆様、資金を提供頂いた各種団体にこの場をかりて感謝申し上げます。

会場では、ステージショーや抽選会、多くの飲食店が出店し参加者を楽しませた。



議会広報委員

委員長	村崎	公一
副委員長	隈部	寛
副委員長	平野	保弘
委員	濱田	憲治
委員	坂田	竜義
委員	吉住	淳一
発行責任者	上田	孝

編集後記
新緑がまぶしい季節となりました。新しい体制での議会も始まり、気持ちを新たに町の将来についての議論が進められていきます。
これから暖かさとともに町の活動もますます活発になってまいります。
町民の皆様の声を大切にしながら、よい町づくりに向けた歩みを進めていきたいと思えます。
季節の移り変わりとともに、地域の行事や活動も多くなってくる時期です。
町全体が元気に動き出すこの季節に、皆様の暮らしがより充実したものとなることを願っております。
今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
(隈部)



お知らせ

◆次回定例会
6月です。
傍聴においで下さい。

お問い合わせ

議会事務局
46-2111 (内線600)